



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

8月



水のある風景に誘われて



VOL.229

もくじ

P1 洲本三大瀑布 P2 灘不動の滝、あわじ花山水 P3 生田村の水車・ひやり峠 P4 浄滝寺・浅野公園 P5 白楽の森水車公園・妙勝寺 P6 淡路文化会館・淡路県民局からのお知らせ・淡路島くうみ協会からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報

鮎屋の滝

淡路島では最も有名な滝で、アクセスもよく駐車場から近いところに滝があって、駐車場からの遊歩道もよく整備されています。滝の落差は14.5mで、雨の後などその時によって水量の違いがありますが、一定の水量は常に流れ落ちていきます。遊歩道は木漏れ日と滝の水しぶきなど、とても涼しく感じます。滝の近くではマイナスイオンがいっぱいで実際の気温も低いのでしょうか。遊歩道で滝つぼの間近まで行けますので、とても迫力がある滝の姿を見せてくれます。



大城の滝

おもしろ

大城池が満水すると現れる滝

大城の滝

場所は、鮎屋ダムの上流にある「大城（だいじょう）池」の余水が流れ出るところです。鮎屋ダム湖沿いの道路を上流に向かって行き、橋を渡らず地道を直進して200mくらいです。車で行く場合は橋の近くに駐車して徒歩で行く方がよいと思います。人工の大城池なので滝も人工ですが、落差は20mくらいあるので水量が多ければとても迫力がある姿を見せてくれます。ただ滝の出現は大城池が雨の後など満水の時だけに限られ常時見られないのが残念です。

洲本三大瀑布

鮎屋の滝

あいや

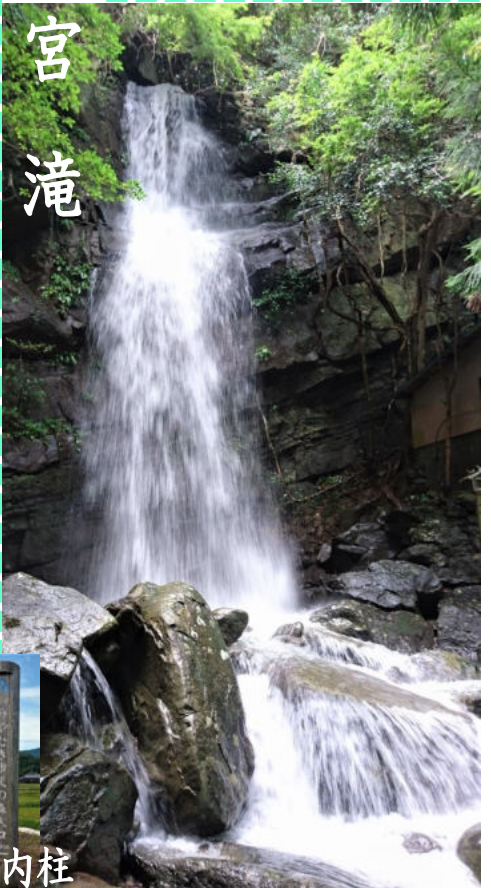


宮滝

場所は洲本市千草、築狭神社の先の橋を渡り約300mのところ立っている「みやたきの森」の案内柱を左折し、約2km道なりに進むと行止まりでそこが駐車場になっています。狭い道路なので気をつけて通行してくださいね。そこから遊歩道を300mくらい歩いたら「宮滝」に到着します。遊歩道は足元が悪いので履き慣れたスニーカーなどがおすすめです。滝の落差は20mくらいで湧水時は水量も少ないのですが、雨の後などは滝らしい姿を見せてくれます。宮滝までは溪流に沿って木々の中を行くので涼しさがいっぱい感じさせてくれます。またここは紅葉の名所なので、紅葉の季節に行くのもいいですね。

(応援隊：田処 喜久)

宮滝



案内柱



苔むした小道を



ザーザー
ザーザー



水の音に導かれて滝へと進む



マイナスイオンが
全身にしみわたる



南あわじ市灘大川にある不動の滝は、県道76号線沿いに「荒滝不動明王」の看板から徒歩300m程。樹木に覆われうっそうとしたコンクリートの道、木漏れ日の苔むした小道を、水の音に導かれながら進むと、この滝の場所だけ上空がひらけます。お昼前に到着したので太陽の光が真上から差し込み、神秘的な滝を拝むことができました。マイナスイオンを全身に浴びてとても気持ち良かったです。その滝の横に滝の水飛沫を浴びているお不動様がおられました。落差10m程の直瀑です。



七二六年
行基が開いた
真観寺奥の院



午前中に行くと
滝に光が差し込み
神秘的

地元では滝つぼ横に鎮座した「荒滝不動明王の石像」とともに「お不動さん」と呼ばれており、真観寺の奥の院で、726年に行基が開いたとされています。日によっては滝の水が少なくて見られないこともあるそうですが、私達が行った前日は雨がよく降っていたので、すごく立派な滝を見ることが出来ました。又不動明王の横辺りの岩肌からも水が染み出ているところがあって、とても興味深い地層の場所だと思いました。

(応援隊：坂本厚子、村上紀代美、川原雅代)

※ 遊歩道入り口の100m程東に駐車スペースがあります。



水車の音で「涼」

あわじ花山水の水車

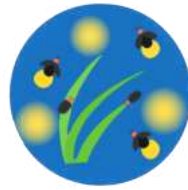
洲本市千草 戊60

洲本市千草の竹原地区にある「あわじ花山水」といえばあじさい園で有名ですが、あじさい園のオーナー水田さん手作りの水車が回っています。

この水車は二代目で、約8年前に「水車の作り方」という本を見て作ったそうです。水源は約300m上流からポリエチレンパイプを通し、落差を利用して水を送っています。アジサイ園の景観も考えて設置していますが、水車の回転を利用して小さな発電機でライトの点灯にも利用しています。

(応援隊：田処 吉久)

自然豊かな田尻川に昔懐かしい水車が回る



ホタルカフェの水車

淡路市生田田尻313

淡路西海岸の室津から山沿いに大坪だんだんファームを横に見ながら坂を上ると緑豊かな農村風景が目に入ります。その中心の田尻川沿いに「水車とカフェ」が静かに出迎えてくれます。急傾斜を流れる水を利用した水車が数多く見られたかつての風景を呼び起こそうと、平成24年度に地域活性化の取り組みの発端となった「水車小屋」を、ホタルの生息地である室津川の支流の田尻川沿いに再現しました。



ホタルが生息できる環境づくりのため河川の清掃や農薬使用の低減などに取り組み、またホタルは安易な養殖ホタルを導入するのではなく、在来種のホタルの保護と増殖を目指しています。また、平成25年4月には、初夏にホタルが乱舞し昔ながらの水車が回る風景が楽しめる田尻川沿いに、「ホタルカフェ」をオープン。当初は地元の女性たちで運営していましたが、平成26年からはIターンされてきた方に経営を委託しています。

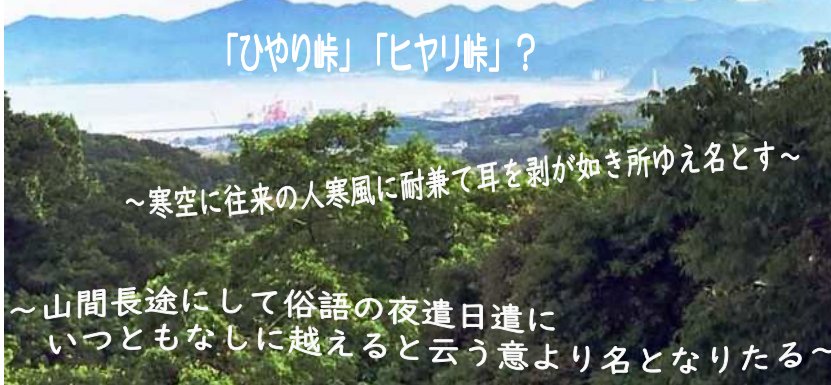
「水車小屋」には、昔なつかしい米つきうすがあります。その昔にタイムスリップし、今は亡き母親が石うすですついたお米を使って炊きたてごはんを握ってくれた、あつあつ「おにぎり」の味を思い出しました。今は川の水が少ないためか、水車は休憩していますが、皆さんも一度、水車を見て若い頃、幼かった頃にタイムスリップしてみませんか。気持ちだけでも若くなると思います。

(応援隊：廣岡 ひろし)

むかし水車が多く見られた田尻地区

ひやり峠

国道28号線、生穂の信号を山手に入る県道123号線(生穂育波線)の淡路市野田尾から長澤間の峠です。国土地理院の記載は「ヒヤリ峠」、現地の絵地図では「ひやり峠」と書かれています。また、淡路の郷土誌「味地草」(1857年)から旧津名町関係分を抜粋して編集された書物によれば、「日遣街道」「日遣峠(耳取山)」「日遣越」と言う記述があります。



「ひやり峠」「ヒヤリ峠」?

～寒空に往来の人寒風に耐兼て耳を剥が如き所ゆえ名とす～

～山間長途にして俗語の夜遣日遣に
いつともなしに越えると云う意より名となりたる～



伝説の峠で
ヒヤリ体験



さんぽで「涼」



自転車でヒヤリ体験

今でこそ車の往来の多い県道123号線。しかし、昔は道なき道を歩いて越えていたんだろうとか、何故峠の名前の記載が変わったのだろうか等と考え始めると、想像は尽きません。峠の途中から見える志筑方面や洲本市街地の景色を眺めながら下から歩いて登るも良し。車で長澤まで行き、鳥のさえずりを聞きながらおさんぽコースを歩いてみるのもいいですね。ノマド村でひとやすみしながら、なんてのはいかがでしょう。

(応援隊：平見 幸)



竹の切り株に
つかまりながら
滝を探しにGO!

15mほど下りると
目の前に滝が!

自然の滝に感動☆

じょうたきじ

浄滝寺 不動滝

淡路市生穂590



見事な三段滝

お殿様の眼病を
治したこともある滝



浄滝寺裏から奥へと入った所に不動滝が水しぶきをあげている。滝の音がザーザーと聞こえてくる。滝へ行く道はないので竹藪を切り開いた土手を竹の切り株につかまりながら15mほど下りていくと目の前に滝が現れる。

落差はわからないそうだが、私の目測では5~6mぐらいあるだろう。自然の滝だ。下流2~3mのところにも落差1mぐらいの滝がありもう少し下にも小さな滝があり、三段滝になっている。

滝の少し上に不動堂がある。ここからの滝の流れも素晴らしい。先ほどの三段の滝が一望できる。

姫路城主池田輝政が眼病にかかったとき、この滝の水で目を洗うと良いとのお不動様のお告げがあり、取り寄せて洗っていると全快されたとの逸話がある。今は滝壺が浅いようで少し濁っている。

滝の音はすごくて迫力がある。やっと自然の滝に巡り合った。そして涼しい。
(応援隊：米田 静子)



安らぎを感じる 浅野公園 不動の滝 淡路市浅野南2113



滝に打たれる行者さんもいます。



涼



つらら
冬の氷柱の滝も
素晴らしい!

浅野公園は、左右の斜面が芝生で覆われ、子供たちはダンボール1枚で何時間でも滑って遊べます。また、春は桜、秋は紅葉と大人も楽しめます。



淡路西海岸を走る県道31号線（淡路高校の南西付近）を走行していると山側に「浅野公園」の道案内があり、車で10分位上がって行くと浅野公園入口にある駐車場に着きます。浅野公園の奥へ進んで行くと階段があり、下りて行くと大きな杉木立の奥から「ザー」と水の落ちる音とともに滝が目の前に見えてきます。高さ15mもある「不動の滝」です。カエデの巨木が溪谷を覆っているため「紅葉が滝」の異名も持っています。行者さんが滝に打たれて修業をしているのをよく見かけます。ご近所の人にお聞きすると、夏の暑い時、田畑の仕事の後の汗をかけた時など、滝に打たれると気持ち良く、心身ともに元気になり、明日への力が湧いてくると、楽しそうに話されています。

また、この不動の滝は一年中、水が涸れることがないので縁起が良く遠方からもお参りに来られるそうです。滝の近くは冷気が漂い疲労感がなくなり、手足を水につけたり、持っているタオルを濡らしたり、子どもに戻ったようで帰りの足取りはとても軽やかになります。やはり、自然の力の強さ、偉大さには頭が下がります。いつまでもこの素晴らしい自然が残って、子どもから大人まで心の底から清々しい気持ちにさせてくれる場であってほしいと願っています。皆さまも一度、高い所から静かに落ちる滝の力を感じに行きませんか。

(応援隊：廣岡 ひろ子)

なんでここに水車小屋が
できたんだあ〜か…



白樂の森水車公園
木で造られた歯車に流れてきた水が落ちてクルクル回る水車は、実に味わい深く夏の涼を感じさせてくれます。そんな水車小屋を、五色町鮎原三野畑地区で見つけました。ただ、この場所に水車が設置されたのには、大きな意味がありました。



白樂(しらす)の森水車公園

洲本市五色町鮎原三野畑字前800-3



水車公園ができた経緯

平成16年台風23号の記録的な豪雨により、甚大な被害を受けた鮎原三野畑川流域。上流にあるため池が決壊し、急勾配を一気に流れ落ちる土砂で周辺の家屋や田畑に大きな被害をもたらしました。そこで復旧事業を担う淡路県民局洲本土木事務所では、単に護岸等の復旧に止まることなく、地域の方々に安全・安心と元気を取り戻してもらうため、復興の礎として“白樂の森水車公園”を整備しました。

水車小屋の仕組み

ため池から流れてきた水が水車小屋へ通じる水路を通り、逆掛け形式で歯車を回し、その動力を使って精米をするという仕組みです。

※水の圧力不足等で現在精米は行なわれていません。



水車へ通じる水路



地域を見守る水車小屋に

水車公園が整備されたのは平成18年。今では三野畑川上流に砂防堰堤ができたことで、安心して暮らすことができるようになったと、地域の方が話してくれました。のどかな田園に囲まれた水車公園には季節の植物が咲き誇り、田植えの時期には水車小屋のすぐ下の川にホタルが飛び交うといます。これからも白樂の森水車公園は、管理をされている地域の皆さんの安全と周辺の里山や棚田の保全を見守ってくれることと思います。

鮎原三野畑(あいはらみのた)地区 三野畑川最上流のため池群より、さらに急峻な山道を登っていくと、標高317メートルの白樂山にたどり着きます。山頂付近には戦国時代の山城である白樂城跡があります。また、美味しいお米の産地としても知られています。(応援隊：瀬戸 由美子)



【資料提供】淡路県民局洲本土木事務所 (☎0799-22-3541)

妙勝寺庭園の滝

淡路市釜口1163



妙勝寺庫裏書院西に築かれた池泉鑑賞式庭園。庭の中心にある滝石組は高さ2.5m。上部に遠山石、その下に滝添石が組まれている。淡路本島内最古の庭園だと言われている。

この庭園の滝は以前は上方にある御太刀山から水を引いた滝水が見られたが、道路改修などにより現在は枯れ滝になっている。

対岸中央の滝石組は高さ1m幅1.2mの石をやや手前斜めに傾けてその後方に蓬莱石の巨石、左右の滝添え石も大きくて力強く配置されている。この滝が水しぶきを上げ、南北15mの池に流れ落ちていたことを想像し、しばし憩いのひと時を過ごす。

妙勝寺は「妙に勝つ」勝ち運が得られるかも。足利尊氏が太刀を奉納し、武運に恵まれたとの逸話がある。今はとにかくコロナに勝つことを祈願。庭園は植栽の種類も多く、池の水、渡り廊下の白壁に心安らぐこと受け合いです。(応援隊：米田 静子)





淡路文化会館からのお知らせ

＜あなたも淡路生活創造応援隊に
参加してみませんか？＞

◎主な活動内容：月刊情報誌生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。

◎主な活動日：毎月最終木曜日の編集会議
(楽しい賑やかな情報交換の場となっています。)

◎会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)

◎募集条件：淡路島内にお住いの方で、生活創造活動に理解のある方なら
どなたでもOK

【問い合わせ先】

淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400



淡路について詳しくなりますよ～

淡路文化会館からのお知らせ

日ごろ、淡路地域において活動されている、音楽サークル、ダンスサークル、スポーツ健康サークル、パソコンサークル、文化サークル等のみなさん！

淡路生活創造活動グループに登録しませんか

- ① 淡路文化会館内の「淡路生活創造情報プラザ」が無料で使用できます。大小14の部屋があります。
- ② 印刷機が5000枚/月までなら無料で使用できます。(※用紙は持参)

等々、淡路文化会館の「淡路生活創造情報プラザ」を活動拠点として利用できます。ぜひ、みなさまのグループも、登録しませんか？

【問い合わせ先】

(公財) 兵庫県生きがい創造協会 淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400
淡路文化会館HPもご覧ください
<https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>



兵庫県淡路県民局からのお知らせ

災害時・非常時はこんなことに注意！

災害時や非常時には誰もが不安な気持ちになります。その結果、さまざまなトラブルが起こりやすくなりますので注意が必要です。

▲ 便乗した悪質商法にだまされない
災害発生時や、コロナウイルス流行などの社会的非常時には、便乗した悪質商法が多数発生します。依頼していない訪問や電話勧誘には普段より気をつけるようにしましょう。

▲ デマ、不確かな情報に惑わされない
災害時や非常時は冷静な判断が難しくなり、デマ(根拠のないうわさ)や不確かな情報が広がる危険性があります。悪意のあるうそや誹謗中傷がインターネットに発信される場合もあります。混乱時こそ、国や自治体等の信頼できる機関の情報を確認しましょう。

▲ 不安による買いだめや転売をしない
コロナウイルス感染拡大時は一時、買いだめが発生しました。マスクの高額転売のような事例もありました。不安をあおるような情報に惑わされず、本当に必要な量だけを購入するように心がけましょう。



淡路県民局 交流渦潮室
県民・商工労政課(消費者センター)
☎0799-26-3360 ☎0799-24-6934



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆令和3年度第2回淡路島くにうみ講座

- 演 題 「みけつ国淡路」
～古代の淡路はどういう島であったか～
- 講 師 武田信一(淡路地方史研究会顧問)
- 日 時 8月26日(木)14時～15時45分
- 場 所 洲本市文化体育館 文化ホール
- 内 容
「御食国」と呼ばれるようになった淡路島の歴史的背景について、大和朝廷から奈良・平安時代までの島の様子をお話いただきます。(申込フォーム⇒)
- 定員 先着200名(無料)
※要事前申込(締切:8月20日(金))



☆地域活性化助成事業(第2期) 申請団体募集

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし、地域交流、文化・芸術又は「国生みの島」をテーマとした事業を実施しようとする団体に20万円を限度に助成します。
※申請書は当協会ホームページよりダウンロード可
(<http://www.kuniumi.or.jp/>)
■期限 8月27日(金)必着(持参に限る)
※事前に持参日時をご連絡ください。

申込・問い合わせ先：(一財)淡路島くにうみ協会
電話：0799-24-2001 FAX：0799-25-2521
Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp
URL：<http://www.kuniumi.or.jp>



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立しづかホール

〒656-2132淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001 ☎ 0799-62-6465
Mail : info@shizukahall.com
休 火曜日

**Osaka Shion Wind Orchestra
BRASS & Percussion**

～Shionが奏でるゲーム音楽の世界～

日 9月12日(日)
会 淡路市立しづかホール
料 一般：(前売り)3,000円(当日)3,500円
高校生以下：(前売り)2,000円(当日)2,500円
※全席指定 ※未就学児童入場不可
※車椅子席につきましては、しづかホールにお問い合わせください。

**しづかホールホワイエ展示会
～淡路市内小学校児童作品展～**

日 9月11日(土)～9月20日(月・祝)
9:00～17:00 (火曜日：休館)
会 淡路市立しづかホール ホワイエ
料 入場無料
《申し込み・問い合わせ》しづかホール
☎ 0799-62-2001
Mail : info@shizukahall.com



**淡路人形座へご来座される
お客様へのお知らせとお願い**

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

◆淡路人形座公演案内

〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 ☎ 0799-52-3072
Mail : awajiningyo@gmail.com

**「戎舞+」(えびすまいプラス)
8月15日(日)まで延長決定!**

**【清川あさみプロデュース
淡路人形浄瑠璃再生プロジェクト】**

○新演目「戎舞+」(えびすまいプラス)
プロデュース 清川 あさみ
脚本 いたうせいこう
写真に刺繍を施す作品で知られる、アーティスト清川あさみさんが国の重要無形民俗文化財にも指定されている淡路人形浄瑠璃の新演目をプロデュースします。500年受け継がれてきた伝統芸能の粋と清川あさみさんのコラボレーションを是非、淡路島でご堪能ください。

日 8月1日(日)～8月15日(日)

○16日以降の定時公演

「人形浄瑠璃」「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」
日 8月16日(日)～8月31日(土)
※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【定時公演】

時 10:00, 11:10, 13:30, 15:00
料 大人1,800円 中高生1,300円
小学生1,000円 幼児300円

【臨時公演】

※30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。
(15日前までの事前予約が必要です。)
時 9:00、16:00

特別公演 一淡路人形座 若手会一

○「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」
○「伊勢恋恋胡麻子 火の見櫓の段」
日 8月21日(土)開場17:30(開演)18:00
料 入場500円 /60席限定
※未就学児は入場不可
前売り券 7月1日(木)発売開始/窓口・電話予約のみ
※主催：淡路人形座
休 【8月の休館日】4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)



◆淡路市立サンシャインホール

〒656-2305 淡路市浦148-1
☎ 0799-74-0250 ☎ 0799-74-0256
時 10:00～18:30
休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

**太鼓演奏者
七海先生による和太鼓教室**

～淡路の海里山の唄を歌いながら
太鼓を打ってみよう～
どなたでもお気軽にご参加ください!
【指導】太鼓 七海(兵庫県出身)
日 8月9日(月)・23日(月)
17:00～18:30

※日程は変更となる場合がございます
会 サンシャインホール
料 1回 1,500円※別途、バチ代が必要

第二十七回「ひがしうら寄席」

日 10月17日(日) 14:00開演
※出演予定 桂 九雀、林家 菊丸、笑福亭 生寿、桂 九ノ一
料 チケット
【前売】一般1,000円、70歳以上500円
【当日】一般1,200円、70歳以上700円
※チケット販売開始 9月3日(金)から
※チケット販売場所 サンシャインホール・しづかホール 洲本市文化体育館

**「サンシャインホール創造委員会」
メンバー募集!**

ボランティアグループ「サンシャインホール創造委員会」のメンバーを募集中です。サンシャインホールの自主イベントの企画や運営にご協力いただける方の応募をお待ちしています。
※定例会 毎月1回 午後7時00分から
会 サンシャインホール
(0799-74-0250) まで



インフォメーション



お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎ 0799-25-3321 ㊟0799-25-3325
 休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

第44回洲本高校吹奏楽部 定期講演会

洲本高校吹奏楽部による、定期演奏会。
 ㊟8月1日(日)開場13:30 開演14:00
 会 文化ホール 『しばえもん座』
 料 無料(整理券をお持ちの方のみ)
 問 洲本高校吹奏楽部 ☎0799-22-1550

白美会 第41回展

白美会メンバーによる展示会
 ㊟8月20日(金)13:00~17:00
 8月21日(土) 9:00~17:00
 8月22日(日) 9:00~16:00
 会 会議室1A-3 料 無料
 問 白美会担当：三谷 ☎0799-22-6682



編集だより

先月(7月)号に続き、涼(りょう)特集で、先月号は氷・氷・氷でした。今月号は水・水・水で、漢字は似ていますが違う字です。当然ですが写真も記事も違います。応援隊の知識の結晶が、この暑い夏に少しでも爽やかさを届けられればと願います。

(応援隊： 田村 ひろ子)

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎ 0799-72-2000 ㊟0799-72-2100

サマーフェスタ

自然素材を使った工作体験をはじめ、夏休み宿題おたすけ教室や、カラフルなビニール傘を空中に展示する「れいんぼーあんぶれら」も開催。

㊟7月17日(土)~8月31日(火)
 会 ビジター棟ほか
 料 参加費はイベントにより異なる
 ※別途入園料、駐車料金必要

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

所 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
 ☎0799-36-2314 ㊟0799-36-5408
 休 月曜日休館(月曜日が祝日の場合は翌日)

開館30周年記念 松帆銅鐸特別展 (前期)「淡路島ゆかりの銅鐸展」

淡路島は、弥生時代の青銅器が多数出土している地域です。今回は保存処理を終えた松帆銅鐸2点を加え、はじめての里帰りとなる倭文銅鐸などを展示いたします。

㊟7月31日(土)~10月3日(日)まで
 時 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 料 大人500円、高大生300円、小中生150円※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」利用可で入館無料
 問 詳しくは玉青館まで ☎0799-36-2314

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400
 時 9:00~17:00 料 観覧無料

今月の美術展示

〔山本喜一写真展〕

「SL冬の湿原号」写真を展示します。多くの方に見ていただければと思います。
 ㊟8月1日(土)~10日(火)(最終日は16時)
 会 美術展示室

〔さとりとりの二人展〕

書セラピーと書の楽しみ方を提案いたします。
 ㊟8月18日(水)~25日(水)(最終日は15時)
 会 美術展示室・県民ギャラリー

〔全日本写真連盟淡路支部会員展〕

日頃の生活の中や撮影会で撮った写真を、全紙パネル張りに仕上げた作品を展示します。
 ㊟8月28日(土)~9月8日(水)(最終日は16時)
 会 美術展示室

◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
 ☎ 0799-24-4450 ㊟0799-24-4452
 休 月曜日休館 時 9:00~21:00

環境ポスターコンテスト 応募作品展

世界環境デーにちなみ、幼児・小学生を対象に募集したポスター(受賞作品を含む)を展示しています。

㊟8月1日(日)~8月22日(日)9時~21時
 会 アールギャラリー
 料 観覧無料
 問 洲本市民交流センター☎0799-24-4450

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願います。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちら是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会

〒656-1521 淡路市多賀600

☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp

H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

